

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可
戸外歩行可	室内歩行可	室内移動可	座位保持可	寝返り可	寝返り不可	<移動機能> <知的発達> 簡単な計算可 簡単な文字・数字の理解可 簡単な色・数の理解可 簡単な言語理解可 言語理解不可 <特記事項> C: 有意な眼瞼運動なし B: 盲 D: 難聴 U: 両上肢機能全廃 TLS: 完全閉じ込め状態

うららの

日常生活紹介

機部 眞美

く「重症心身障害」の知的障害の世界です。私たちの施設では、以前、重症心身障害の適応行動評価表を作成し、支援計画作成の根拠としてきました。これはDSM-5を先取りしていたと言えます。それでも、まだ精度が十分だとは思っていません。さらに詳細な適応行動評価を行い、さらにきめ細かい生活支援を行っていく所存です。

うららは、入所者17名(横地分類A3が3名、A4が6名、A5が3名、A6が1名)が生活しているゾーンです。Aさん(横地分類A4)は、職員が一步一步少しずつ間を明けながら近づいていくと、職員の顔をずっと見つめていきます。最後に「ぼっ」と表情を変えてみせると、その変化

にぶつと吹き出すように笑います。「どんどこももんちゃん」というリズムのよいフレーズが多く出てくる本を読むと、「どんどこ・どんどこ」というフレーズの面白さを感じてニコニコしながら聞いています。読み進めていくと、「どんどこ・どんどこ」というリズムのある言葉の後に、「どーん」というフレーズが出てきます。その前で少し間をあげると、何があるんだろうとじつと次の言葉を待っている様子があり、「どーん」と言うとき吹き出すように笑います。そして、また「どんどこどんどこ」が始まると集中して来ている様子がありました。リズムのある言葉や言葉の繰り返しの後に来る変化を期待して楽しんでいるように見えました。



Bさん(横地分類A5)

B)は、目が見えないため、音楽や職員の弾くピアノの音を聞いたり歌を口ずさんだり、職員の手をとって、叩いてリズムをとったりします。普段は、職員の手をとって好きなリズムで「タンタタンタン」と叩くと、自分から終わりつというように職員の手を押し出しています。活動では、Bさんの手をとってゆったりとした「海」や「八十八夜」などの曲に合わせて手拍子をする。初めは曲調やリズムに関係なく手を叩いていましたが、続けていくとだんだんと手拍子や曲調に合わせて、手を動かそうとする様子がありました。2拍子から4拍子にリズムを変えると、下を向いてリズムを感じるようにじつと耳を傾けて聴き、少しずつ拍子を合わせようとしていました。

すばるは、入所者20名(横地分類A1が10名、A2が5名、A3が1名、B1が3名、D1が1名)が生活しているゾーンです。Aさん(横地分類A1)は、周囲の声や音をよく聞いています。リビングのドアが開く音の後、職員の「こんにちは」といういつもと違う声があると、誰かが来たと感じ嬉しそうな高めの声を出します。また、近くで歌声や本読みの声が聞こえてくると、それをじつと聞いて、楽しそうにニコニ

すばるの日常生活紹介

加藤 弓子